

●防災避難訓練(令和5年11月26日)

有田市消防署の立会いのもと、今年度2回目の防災訓練を実施しました。

今回は地震発生時におけるアクションカードを使った災害時の対応シミュレーションや患者搬送を行い、その後、消防隊員よりAEDの実技講習をしていただきました。

今後発生が懸念される南海トラフなどの大規模災害に備え、今回の訓練で学んだことを活かしていけるようスタッフ一同、防災意識を高めていきたいと思ひます。



新入職員紹介

医事課 事務員

さいか みわ
雑賀 美和
(令和5年9月1日入職)



まだまだ覚えることに精一杯の日々を送っています。1日でも早く戦力になれるように、仕事を一つ一つ丁寧に正確にこなして、初心を忘れず頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

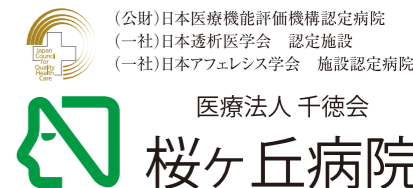
栄養管理科 調理員

うめした ゆうき
梅下 憂季
(令和5年10月1日入職)



不慣れな点が多く、先輩方にご迷惑をおかけしていますが、1日でも早く業務に慣れるように懸命に頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

さくら通信



医療法人 千徳会

桜ヶ丘病院

院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp

●地域連携室
TEL 0737(83)0829



診療科目等

- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
一般病床:49床(特殊疾患病棟入院科1)
医療療養病床:50床(療養病棟入院基本科1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名)(夜間透析実施中)

医療法人千徳会

- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり(相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
3. 創造性(常にチャレンジ)
4. 合理性(道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽(常に学習を)

経営理念

「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」
「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

社会福祉法人守叅会

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1 電話0737-82-6644 FAX0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

謹賀新年



医療法人社団 千徳会

理事長 成川 暢彦
院長

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、良き新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

さて、この4年間を振り返りますとCOVID-19という未知のウイルスによって世界中がパニックになり、さらに追い打ちをかけるようにウクライナ情勢が加わり、私たちの生活が一変しました。

令和5年5月以降、新型コロナウイルスは5類の感染症になりましたが、COVID-19の大波小波の流行の中、我々のような医療機関においては、常にクラスターが起こらないよう、気が抜けない日々が続いています。このような状態がいつまで続くのかわかりませんが、これからも医師・看護師をはじめとする千徳会の全スタッフと共に困難を乗り越えていきたいと思ひます。

Withコロナの時代、これからも地域の皆さまとともに、かかりつけ医として精一杯歩んでいきます。

どうぞ、本年も宜しくお願ひ申し上げます。



糖尿病について

内科医長 いながき ゆうこ 稲垣 優子 医師



糖尿病は、インスリン(血糖値を下げる作用をもつホルモン)が十分に働かず、血液中のブドウ糖という糖(血糖)が増えてしまう病気です。血糖値が何年間も高いままで放置されると、血管が傷つき、将来的に心臓病や、失明、腎不全、足の切断といった、より重い合併症につながります。糖尿病の患者数は、生活習慣と社会環境の変化に伴って急速に増加しており、合併症が進む前に早期に糖尿病を診断し、治療していくことが重要です。

糖尿病では、血糖値がかなり高くならなければ症状が現れないため、症状がなく糖尿病になっていることに気がついていない方も多くいます。高血糖の症状には、喉が渇く、水をよく飲む、尿の回数が増える、体重が減る、疲れやすくなるなどがあります。さらに血糖値が高くなると、意識障害を起こすこともあります。

糖尿病の治療は日進月歩です。以前に比べ治療薬が増え、また、生活習慣をどう改善すればより効果的なのかが分かってきています。最近では、2型糖尿病患者では普段のウォーキングの速度を少し上げることで、血糖管理などを改善する効果が期待できること、また、短い細切れの時間でも積極的に体を動かすことで、1日の終わりにはかなりの運動量になることが分かってきました。

皆さんも自分の生活習慣を見直して、糖尿病の発症リスクを下げ、早期発見に努めるべく、定期的に健康診断を受けていきましょう。

院外糖尿病教室を開催しました(令和5年11月16日 於:オークワ箕島店)

この教室は、毎年11月の全国糖尿病週間に合わせて開催しているもので、今年で33回目となります。医師・薬剤師・管理栄養士による健康相談や食事指導、血圧・血糖・体脂肪率測定などを行い、今回は26名の方に参加していただきました。買い物途中に気軽に立ち寄り『糖尿病以外ことも相談できてよかった』と喜んでいただきました。



第31回日本慢性期医療学会

(令和5年10月19日～20日 於:大阪国際会議場)

当院から7名が参加し、4階病棟 橋爪怜美看護師が「新卒看護師の不安軽減に向けたポケットマニュアルの作成」、さくら訪問看護ステーション 碓成哉看護主任が「訪問看護利用者の介護者への支援～長期自宅介護を実現するために～」の演題でそれぞれ発表を行いました。また、林好加看護師長が「褥瘡・スキンケア」のセッションにて座長を務めました。



●第28回和歌山県病院協会学術大会(令和5年11月3日 於:ホテルアバローム紀の国)

2演題の発表を行い、一久誠介護福祉士の発表はセッションの優秀賞に選ばれました。

一般演題

- 『入浴介助におけるスキンケア予防への取り組み
～他施設の取り組みを参考にして～』
5階病棟 介護福祉士 一久誠
- 『医薬品集計業務の効率化を目指した取り組み
～QC手法を用いて～』
薬局 助手 澤谷真希



●第9回さくら健康教室(令和5年11月18日)

小田稔腎センター長が「あなたの腎臓思ったより悪いかも」というテーマで、腎臓病に関する基礎的な知識や早期発見・早期治療の大切さ、慢性腎臓病の予防ポイントを分かりやすく講演し、その後、見学ツアーと題して希望者の方を対象に、腎センターの見学を行いました。

